

## 式 辞

長かった冬の寒さが和らぎ、校歌にあるように「希望の光満ち渡る」春の訪れを感じる季節となりました。

この佳き日に、公私ともにお忙しい中、須賀川市教育委員会並びに市議会議員の皆様をはじめ、多数の御来賓の皆様の御臨席を賜り、ここに、第72回卒業証書授与式を挙げてきますことは、誠に大きな喜びであります。教職員を代表し、心より感謝申し上げます。

只今、卒業証書を64名の皆さんに授与いたしました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

先日、皆さんの入学時の写真を見せていただきました。幼さの残る、可愛らしい表情でした。それが、今では、引き締まった大人の表情に変化してきています。この3年間での皆さんの成長がどれほど大きかったか、改めて実感させられました。

特に、秋の学校祭「秋桜祭」での活躍は目を見張るものがありました。最上級生としての「在るべき姿」をしっかりと示してくれたことは強く印象に残っています。

また、受験を前に行った面接の練習では、自分が将来どんな大人になりたいかをしっかりと自分の言葉で語ってくれましたね。その力強い言葉に、「あこがれ多き若人」としての頼もしさを感じることができました。ぜひ、今の気持ちを忘れずに、これからも成長し続けてくれることを願っています。

さて今日は、9年間の義務教育を修了し、それぞれの道を歩み始める皆さんに、最後の話をしたいと思います。最後の話は、また、本校の教育目標に関係する…「笑顔」につきり、「言葉」はっきり、「時間」きっちり…についてです。

一つめの「笑顔」…この笑顔は、誰の笑顔なのでしょう。

自分の笑顔、それはとても大切です。自分の印象を良くするだけでなく、周囲を明るく気分させてくれます。笑顔を保つには強さが必要ですが、笑顔でいることで自信が湧いてきて、より強い自分にも変わることができます。

そして、もう一つの大切な笑顔が、他人の笑顔です。これを守るのは、とても難しいことです。相手の立場を尊重し、敬うことが求められます。たとえ自分とは異なる考えであっても、納得はできなくても、それを聞いて理解するよう努力することが必要です。

そこで大切になるのが「言葉」の力です。私たちの言葉は、ときに太陽のようにあたたかく、ときに氷のように冷たいものになります。人の心の痛み想像力を働かせることで人の心を癒やすこともできれば、無責任な匿名の書き込みで鋭く傷つけることもできます。言葉は、私たちの思考そのものです。対立する関係を解決する唯一の道具です。

ただし、対立を言葉で解決するためには、一つ条件があります。それは、お互いが共通のルールを守っているということです。ルールを無視すれば、対立は、たちまち「争い」や「戦い」に発展してしまいます。そうならないために、共通のルールを守る、その第一歩が時間を守るということです。

卒業生の皆さん、これからは自分の力で「笑顔、言葉、時間」を大切にしていきたいと思います。それらが自然にできるようになることが、これからの人生を幸せに生き抜く力になっていきます。どうか、自分の「大切な人生」をしっかりと生き抜いてほしいと思います。

保護者の皆様に申し上げます。

お子様のご卒業、誠におめでとうございます。中学校の3年間は、多感な時期であり、ご家庭においては言葉に尽くせないほどの、ご苦勞もあったことと拝察いたします。今日、こうして立派に成長したお子様の晴れ姿を目にし、感慨深いものがあるのではないのでしょうか。

仁井田中学校の伝統である「無言で取り組む清」「心のこもったあいさつ」そして「全校生の和で奏でる校歌」に、新たなページを書き加えた卒業生の皆さんの晴れやかで自信に満ちた表情を見るにつけ、これもひとえに、保護者の皆様の深い愛情、さらには日頃からの学校教育への御協力の賜と、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

さあ卒業生の皆さん。いよいよ別れの時です。

皆さんが、今日の感激と感謝の気持ちを忘れず、さらに「伸びゆく」ことを信じるとともに、皆さんの大いなる前途を祝して式辞といたします。

平成31年3月13日

須賀川市立仁井田中学校長 湯田 公夫